

週休2日工事実施に関するアンケート調査結果について

アンケートにご協力をいただいた業者の皆様、誠にありがとうございました。調査結果を集計しましたので、ご覧ください。

1 調査概要

(1) 目的

週休2日工事に関する市内工事業者の現状・意向の実態調査を行い、週休2日工事発注の本格導入に向けた課題整理に活用するため

(2) アンケート対象

松本市の入札参加資格及び工事格付けを有する市内本店工事業者（232社）

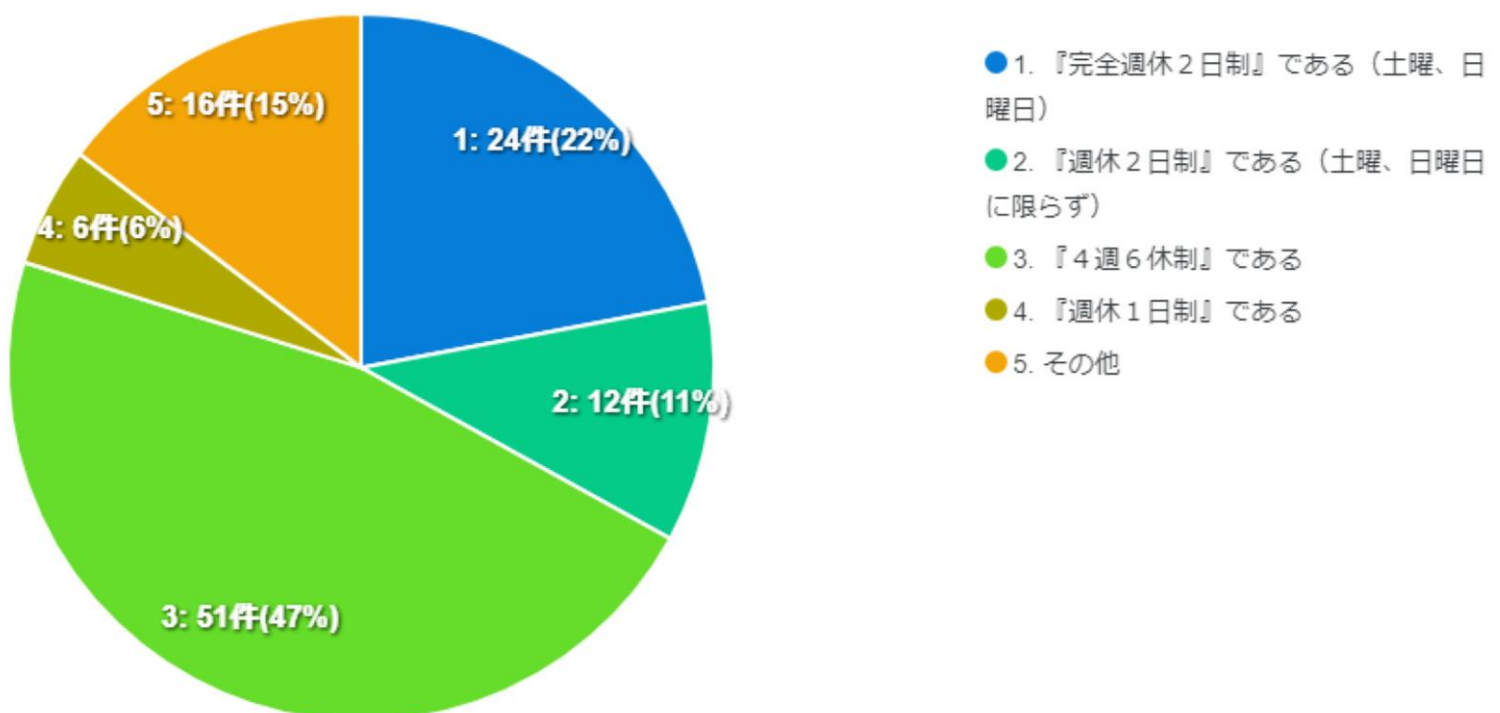
2 アンケート結果

(1) 回答率

44.8%（104社）

(2) 設問ごとの回答結果と自由記述内容（抜粋）

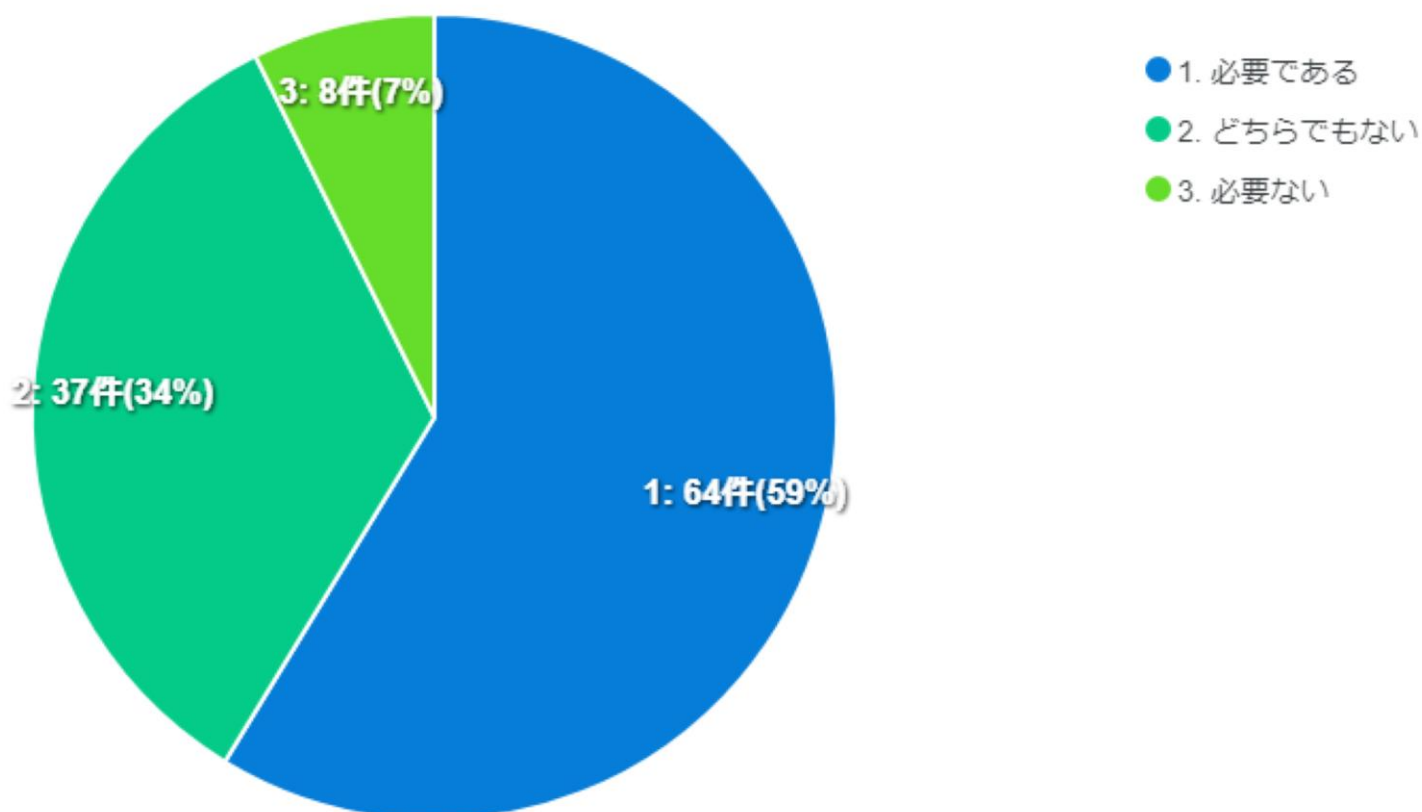
Q1 貴社は「週休2日制」となっていますか



【その他を選択した場合の記述】

- ・年間カレンダーによる。年間休日98日。
- ・第2土曜日は休業、その他1回月別に(奇数・偶数)半数分けて第4土曜日が休み
- ・ほぼ週休2日制であるが、年間休日を110日としているため土曜出勤を設定している月もある。
- ・基本的には日曜日は休み。雨、雪、等の悪天候の時に休みになることがある。積雪時は、量によっては4~5日程度連休になる。
- ・3ヶ月は完全週休2日制 9ヶ月は4週6休制 等

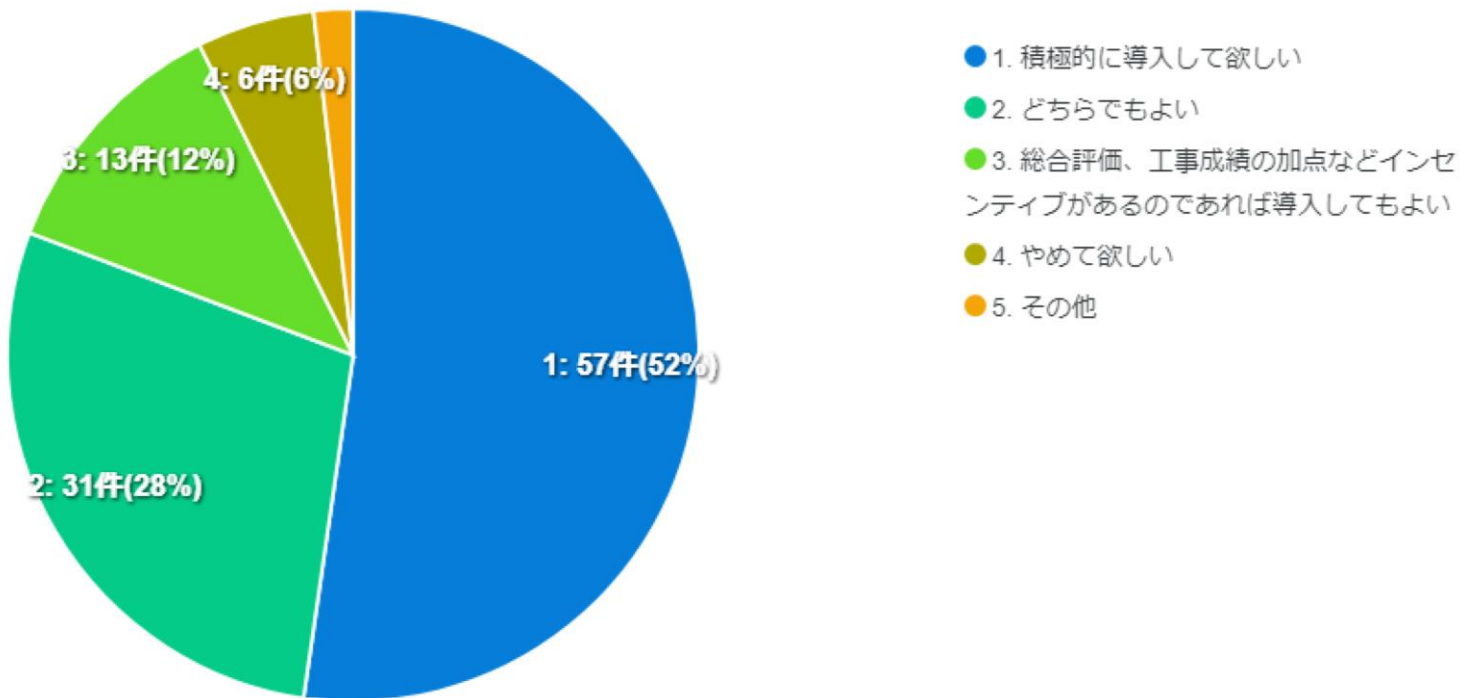
Q2 工事現場の「週休2日制」は必要だと思いますか



【自由記述】

- ・工種柄、天候に左右されるので、平日天候が悪く作業ができない場合があるので、その分を土日に作業をするので導入はしなくてもよいかと思います。
- ・建築の下請業者は土曜祭日には民間の仕事をやっています

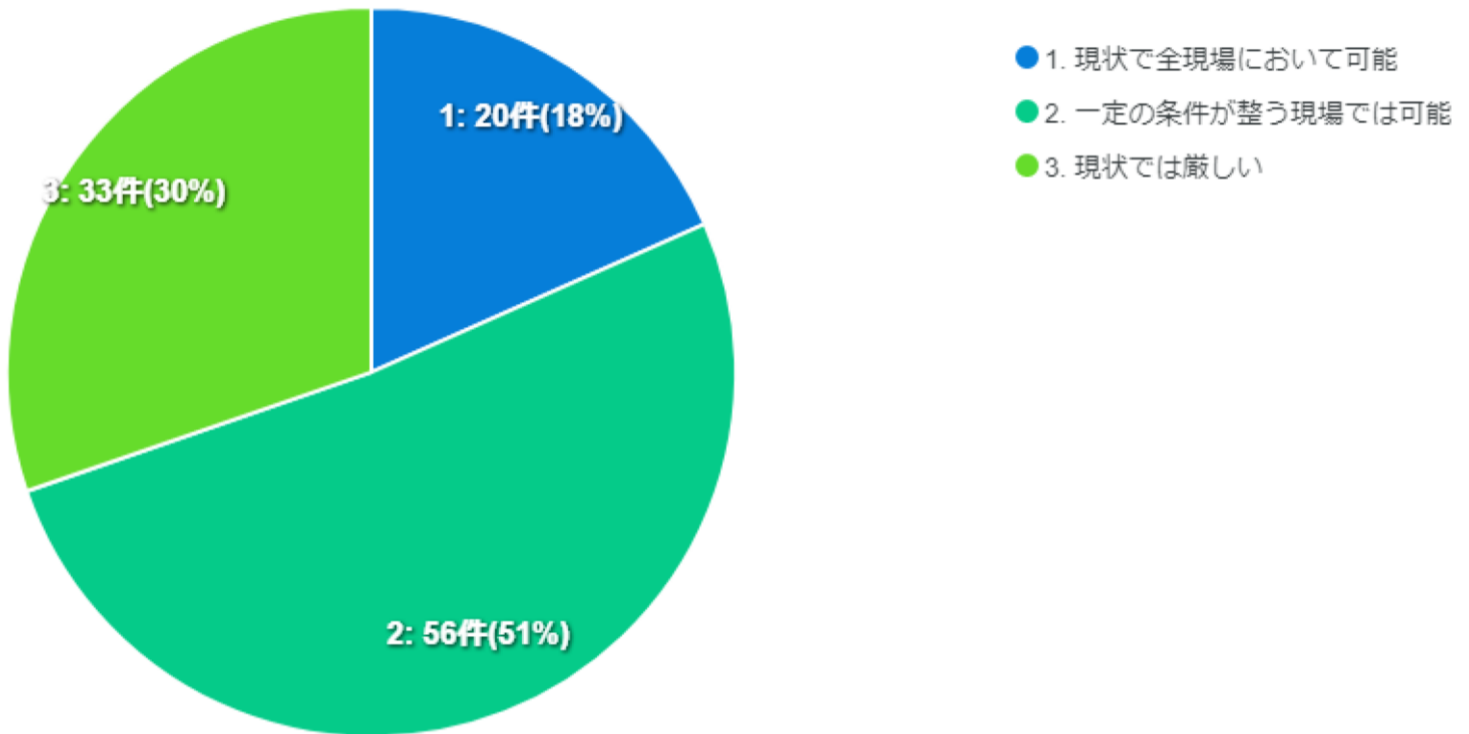
Q3 松本市の発注工事において、週休2日工事を導入することについて、
どう思いますか



【「やめて欲しい」を選択された理由】

- ・ 仮に躯体業者が週休二日制を実施すると、天気が悪い等の理由で工程が遅れた場合、そのしわ寄せが後工程に来ることが目に見えており、日曜日の施工が必要になる。
- ・ 1日分の工事量が減少するため。
- ・ 売上の減少、工事期間遅延する恐れがあるため
- ・ 公共工事は週休二日を導入できるが、民間工事については週休二日にはなかなか出来ないと思う。
- ・ 施工コストの増大

Q4 工事現場の「週休2日制」を今後、工事規模の大小にかかわらずすべての工事で実施していくことは可能ですか



【「一定の条件が整う現場では可能」を選択した場合は、具体的な条件について教えてください】

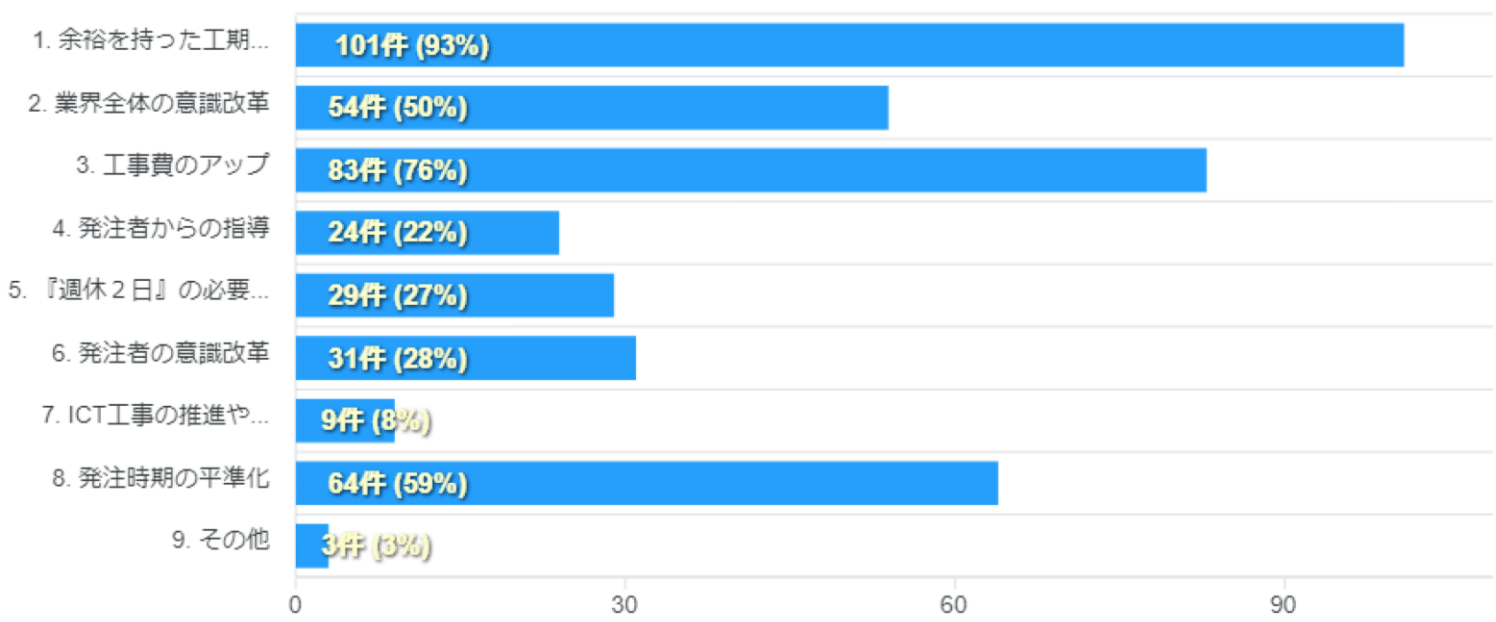
- ・ 余裕を持った工期が設定されている現場（33件）
- ・ 週休2日工事の適切な経費が設定されている現場（8件）
- ・ 早期発注がされている、発注時期が適切である現場（3件）
- ・ 不測の事態に対する工期延長等の柔軟な対応が可能であること（2件）
- ・ 能力のある現場監督が担当している現場
- ・ 現場の状況(天候等)による（3件）
- ・ 関係機関、関係住民の理解が得られる現場（4件）
- ・ 土曜日の工事現場作業を全業種とも休工とするなど
- ・ 現場完全閉所が可能な現場である事が必要だと考えます
- ・ 下請業者との契約及び工期が整う現場では可能
- ・ 他職種との絡み
- ・ 器具取替や、停電を伴う作業では土日（事業場が休みの時）に行う事が多いので難しい
- ・ 他職種との調整がある場合は不可能
- ・ 発注者側も工事着手に大きな支障が出ないように配慮してほしい
- ・ 電気設備のみ等、単独で施工できる、他業者の調整を必要としない現場。発注者や設計監理の変更が少なく、協議事項や選定事項を早期に決定してくれる現場
- ・ 建築との兼ね合いで工程管理は必須（建築独自の工程管理を行い結局電気等は週末に行うことがありがち）
- ・ 配置職員が多数おり交代制が実施出来る現場

Q5 松本市における貴社の格付のうち、「週休2日工事」としての発注を希望する工種及び格付けを全て選択してください（複数回答）

	A			B			C			D			E		
	希望	総数	割合	希望	総数	割合	希望	総数	割合	希望	総数	割合	希望	総数	割合
土木一式	14	16	87.50%	6	8	75.00%	7	7	100.00%	6	7	85.71%	6	7	85.71%
建築一式	4	4	100.00%	5	8	62.50%	5	5	100.00%	2	2	100.00%	3	3	100.00%
とび・土工・コンクリート	15	16	93.75%	6	8	75.00%	7	10	70.00%						
電気	12	13	92.31%	7	7	100.00%	2	2	100.00%						
管	7	8	87.50%	4	7	57.14%	5	7	71.43%						
ほ装	11	14	78.57%	4	5	80.00%	11	17	64.71%						
機械器具設置	2	2	100.00%	1	1	100.00%	1	2	50.00%						
電気通信	4	4	100.00%	2	2	100.00%	5	6	83.33%						
消防施設	2	2	100.00%	2	3	66.67%	3	5	60.00%						
解体	6	8	75.00%	6	9	66.67%	3	5	60.00%						

- ※ 「希望」の数字は、該当工種格付での発注を希望すると回答した件数です。
- ※ 「総数」の数字は、本アンケート回答者の有する該当工種格付の件数です。
- ※ 「割合」 = 「希望」 / 「総数」

Q6 「週休2日工事」を実施する上で、発注者に求めることは何ですか。（複数回答）



Q7 その他「週休2日工事」に関するご意見・ご要望等あればご記入ください。(自由回答)

- ・業務効率化のために情報共有システムや電子納品を活用していただきたい
- ・建設業界、特に建築業界は日曜日でさえ働いている業者も多く見受けられます。他業者が当然の様に働いていると弊社も休むわけにはいきません。建築業界全体の意識改革がない限り完全実施は難しいと思われます。若者も就業しにくいと思われます。
- ・施工計画・協議書等施工段階の書類・竣工書類の電子化及び簡素化
- ・工事は週休2日でも企業が1・3・5土曜出勤の場合そこに食違いができる。出勤土曜を休みにする場合、有休にするのか祭日出勤に振り替えるのか企業が悩むことになる。工事を週休2日にするには日本全体で全ての企業が完全週休2日になることが必要不可欠と感じる。土曜出勤のある会社が就業規則を変えれば簡単に済むというわけにはいかない。出勤日数が減れば従業員の給料や会社の体制にも影響が出る大きな問題である。よって、すべての工事が週休2日となるためには世の中全体でそれが定着しなければ、中小企業末端までそれが定着しないのではないかと感じる。よって、市工事はすべてのA級業者の工事に週休2日を適用するに留めるべきと感じる。
- ・今年度の工事現場(民間)ですが当初、週休二日制のシステムでしたが工事の遅れが生じ工期が迫る中、最終的に日曜日も出勤しなければならない状況で工期1ヶ月前は1ヶ月無休の状況でした。現状、資材調達の遅れ・人員不足などの問題を解消しなければ不可能のような気がします。
- ・8月以降の入札が多いため冬場の施工が多くなるのと新築物件との施工時期が競合することが多いため施工部隊を手配するにも厳しい状況が発生することがあります。工期を年度をまたいだ7月完工のような設定をしていただけるとありがたいです。週休2日制の導入は世情の流れから推進すべきことではありますが工種によっては天候に左右されますので発注から完工時までの天候状況を過去のデータと照らし合わせて工期を設定していただくような取り組みを検討していただきたく思います。単純に週休2日制を導入しても天候によって施工不可となるケースが続くことも多々ありますので、平日悪天候、土日は天候が回復となったときに週休2日制だったから施工は認めないとなると工期がなくなるといったケースが発生しますから、規模等にもよりますが検討お願いしたいところです。会社としては週休2日制に向けて近づけていますが、営業・事務職は対応可能ですが現場現業担当は現実的には土日でも動かざるを得ない場面が多いので、やはり建設業全体で検討することになるとは思います。従来感覚の工期設定を週休2日制での感覚で検討して頂くことが必要であると考えます。
- ・設備工事の場合、建築工事の工程に合わせなければならないため、施工日程が短い場合が多々あります。人員不足もあり、休日作業にて対応する事もありますので、入札工事においては監督員に工程の確認、調整もお願いできたらと思います。
- ・若者にとって完全週休二日制は当たり前の事であり、若年就業者を確保できなければ建設業の未来はありません。技術者を育て上げるには長い時間が必要です。弊社でも休日を増やし、週休二日相当のカレンダーを作成し運用していますがまだまだ不足だと思っております。市発注工事が週休二日になれば必然完全週休二日制に移行できます。よろしくお祈りします。
- ・天候や社会行事等による変動への配慮と、場合により工期延長等の協議をお願いしたい。基本的に土・日・祝日を休みとしたい。

- ・工事は着手からも各種不測の事態が発生します。予算執行に関して柔軟な対応が出来なければ週休2日工事を継続する事は厳しいのではと思います。
- ・積極的にアピールをお願いします。
- ・設計、建築業者様の意識がまだまだ低いと感じております。
- ・設備工事会社ですが建築主体工事がある場合、建築が土日施工をすると付随して電気、設備が出勤せざるを得ないので、まずは建築会社の週休二日制を積極的に進める必要がある。
- ・新卒、若年者を雇用する場合にも週休2日は当たり前の条件であるので、建設業の発展のためにも緊急課題であると思います。
- ・各会社、若年層の人材の確保が第一の懸案事項であるため週休二日等余裕のある仕事をしたい
- ・週休二日には関係が無いが、資材関係の一斉値上げが会社をひっ迫しており予算以上に材料購入にかかっている工事費アップをして頂かないと大変厳しい
- ・夜間工事の労務費が安い。
- ・週休2日制には賛成ですが工事費がかさみ合材等資材が設計価格ではとても購入出来ない(約1.2倍)。その様な状況なので対応したくも出来ないのです。
- ・週休2日制を取り入れていかないと若者が建設業に入ってこなくなる。
- ・末端の職人は日給月給のため収入減になる可能性があります
- ・施工業者だけではなく、資材関係等業界全体が週休2日になる事が望ましい。